

## 令和3年度の静岡市食の安心・安全アクションプラン進捗状況

令和3年度は、「食の安心の提供のための施策」34事業と「食の安全の確保のための施策」22事業の合計56事業を実施しています。

令和3年度12月末時点での実績と令和3年度末時点での進捗状況見込みを確認したところ、進捗状況は「S評価」1事業、「A評価」52事業、「B評価」3事業となりました。「B評価」となった事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものでした。現プランの重点事業であるNo.6及びNo.51は「A評価」、No.15は「B評価」となる見込みです。

指標を100%達成し、かつ期待を上回るような成果があった(S評価)

指標の80%以上達成、または指標の内容を実施できた(A評価)

指標の50%以上80%未満達成、または指標の内容を一部削除・中止して実施した(B評価)

指標の50%未満達成、または事業を未実施、廃止または休止をした(C評価)

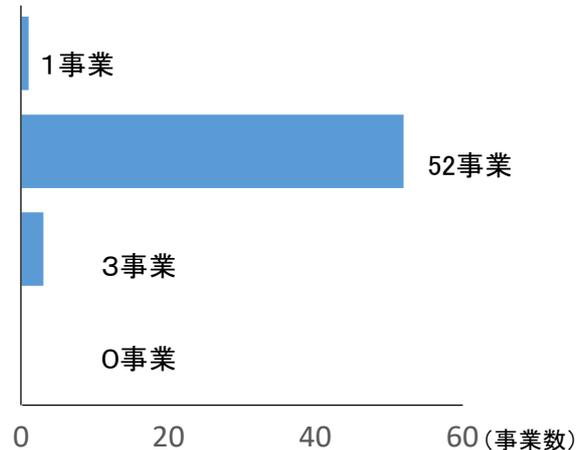


図1.令和3年度の達成度評価(見込み)別事業数

## 令和3年(1月~12月)の食中毒発生状況

静岡県全体では、食中毒事件数・患者数は令和2年より減少しました。全国的にも同様の傾向となっています(令和3年食中毒発生事例(令和4年1月31日の速報値)厚生労働省HPより)。

静岡市で発生したアニサキスによる食中毒は、鮮魚介類を含む料理が原因食品となりました。アニサキスは寄生虫で、魚介類の身に寄生しているのを目視できる場合があります。サバ、カツオ、アジ、イカ等を生食する時には、身をよく見る、一度冷凍したものを喫食するといった対策をとることで、食中毒を防ぐことができます。

表1.静岡県内の食中毒発生状況(令和3年1月~12月)

	事件数	患者数(人)	1件あたりの患者数(人)	死者数(人)
静岡県	6(12)	111(277)	18.5(23.1)	0(0)
内訳	県管轄	3(9)	100(244)	33.3(27.1)
	静岡市	2(2)	7(18)	3.5(9.0)
	浜松市	1(1)	4(15)	4.0(15.0)

※( )内は令和2年の数字

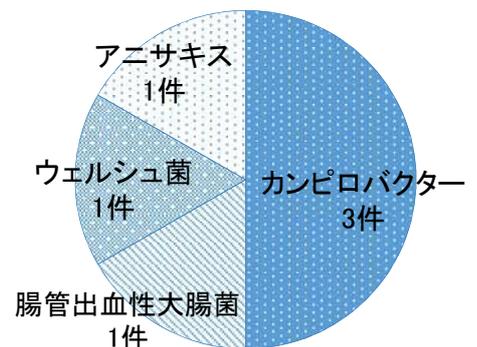


図2.静岡県内の病因物質別発生件数(令和3年1月~12月)

表2.静岡市内の食中毒発生状況(令和3年1月~12月)

発生日	原因施設	病因物質	患者数	原因食品
6月9日	飲食店	アニサキス	1人	調理提供された生鮮魚介類を含む料理
9月6日	飲食店	カンピロバクター	6人	調理提供された料理

## 令和4年度の静岡市食の安心・安全アクションプラン取り組み方針

令和4年度はほとんどの事業を変更なく実施（取り組み方針「継続」）する予定です。「継続」以外の取り組み方針の事業は、「充実」となるNo.19の1事業です。

令和4年度は「食の安心の提供のための施策」34事業と「食の安全の確保のための施策」22事業の合計56事業を実施する予定です。

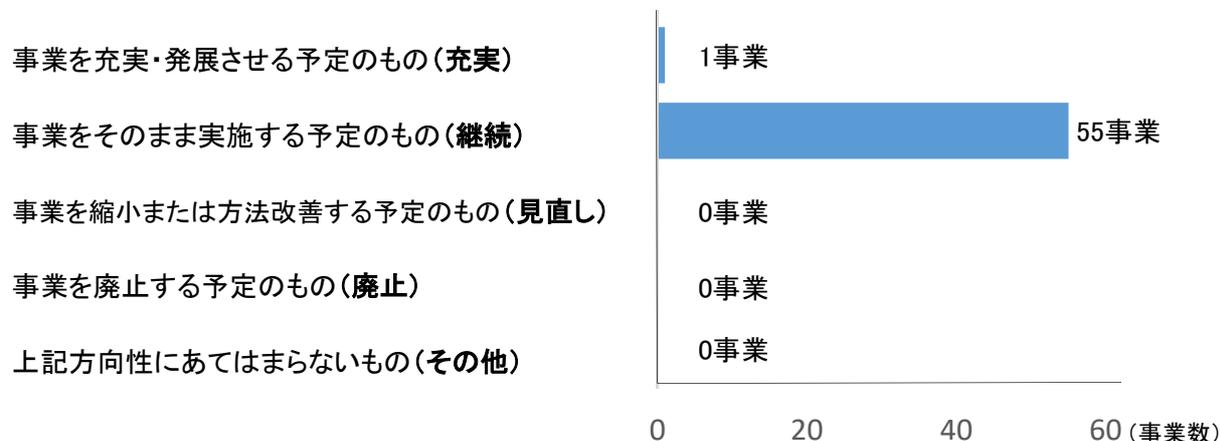


図3. 令和4年度の取り組み方針別事業数

## 新型コロナウイルスの影響（令和2年度及び令和3年度12月末時点の実績）

<b>代替</b> 動画公開、Webで開催、書面で開催など	⑦消費者による意見交換会の実施、⑳食の安全教室の開催、㉔食品添加物や細菌などの検査に関する市民講座の開催、㉓農業まつりの開催、㉒しずまえ漁業見学事業の実施、㉔こども園、保育園給食衛生研修会の開催、㉕学校給食衛生研修会の開催
<b>人数制限</b> 少人数での実施など	⑯食生活改善推進員による地区活動、⑱食育応援団事業、㉔㉔こども園の巡回、指導
<b>衛生対策</b> 広い会場を使用、手指消毒徹底など	⑯食生活改善推進員による地区活動、⑱食育応援団事業、㉔食の安全教室の開催、㉓食の安全に関する講座の開催、㉔食品添加物や細菌などの検査に関する市民講座の開催、㉕お茶の美味しい入れ方教室の開催、㉔食の安全に関する講座の開催、㉔地産地消を学ぶ講座の開催、㉔食品等事業者に対する衛生講習会への講師派遣
<b>時間短縮</b> 短時間での実施など	㉔㉔こども園の巡回、指導、㉔こども園、保育園給食衛生研修会の開催
<b>縮小または中止</b>	㉔食品販売店、製造業者へ立入時の表示検査（R3年度）、㉓食品表示の合同調査の実施（R2年度）、㉕食品表示制度についての消費者向け講習会の開催（R3年度）、㉔自然体験活動における食育活動の推進、㉔環境に優しい野外炊飯活動の推進、㉔学校給食における地場産物を取り入れた献立の提供（R2年度）、㉔食品衛生検査施設の業務管理要領に則った検査の実施（R2年度）